

令和5年度

丹波地域 まちの自慢発信事業



兵庫県丹波県民局・兵庫県教育委員会丹波教育事務所

協力：丹波篠山市教育委員会・丹波市教育委員会

城南ふるさと大発見!

城南小学校の校区には、豊かな自然や歴史、素晴らしい文化があります
学習を通して、ふるさと城南を誇りに思う子どもたちを目指しています



校樹「くすの木」～100年をこえて城南っ子の成長を見守る～

校樹「くすの木」は、明治43（1910年）に真南条の松尾権吉さんが、台湾に行かれる記念に贈られたものです。今よりも、もっと東に生えており大木で生い茂っていました。

その後、改築や運動場の拡張工事があり、そのたびに引き抜かれ、枝を切り落とされてきました。昭和59年には、初夏になっても芽吹かず枯れてしまったと思われたところ、6月22日になって新芽を出し強靱な生命力を示しました。度重なる植え替えと自然の厳しさに耐えて、たくましく生きてきたことを称えられ、「くすの木」は、昭和62年に「校樹」と定められました。城南っ子は、校訓「根よ張れ、幹よ太れ、葉よ繁れ」を心に、校樹「くすの木」のもとで日々学び続けています。



校章とホタル



城南小学校の校章には、ホタルの絵が描かれています。校区は、昔から自然豊かで、ホタルが飛び交う地域であったことがうかがえます。現在も昔と変わらず真南条川や小枕川、尾根川などいたる所で6月ごろになるとホタルが飛び交っています。

地域のエコティーチャーである田井先生（兵庫県立篠山東雲高等学校教諭）のお話では、ホタルの数は、昔から減ってはいないそうです。日本では、ホタルの減少を嘆く地域もある中、城南小校区では、川の生態系が崩れることなく自然が守られていることを知り、子どもたちは、喜んでいました。



生き物いっぱい城南の川調査(4年生)

城南小校区を流れる川には、ホテル以外にもたくさんの生き物が住んでいます。校区には、武庫川水系の真南条川と加古川水系の小枕川が流れており、多くの生き物が現在も生息しています。

4年生は、地域のエコティーチャーに教えていただきながら、生き物調査を行っています。令和5年度には、22種類もの生き物を見つけることができました。子どもたちは、多くの生き物にふれ合うことで、地域の川が今まで以上に身近で大好きになりました。そして、これからこの川が、いつまでも生き物でいっぱいの川であるために、外来種のことや川の環境について深く考えることができました。

こんな生き物がいたよ!

- ・アカザ・絶滅危惧種に認定されている魚
- ・川の水質がわかる生き物たち
カゲロウ・トビケラ・サナエトンボ・コオニヤンマ等・城南の川は、ややきれいな川
- ・他にも
ドンコ・カワムツ・スジエビ・ムギツク・ヨシノボリ・サワガニ・ドジョウ・ヌマエビ・ハグロトンボ
- ・困った!こんな生き物も
アメリカザリガニ・ウシガエル・外来種



地区探検「宇土観音」「龍蔵寺」(3年生)

宇土観音には、大きい銀杏の木があります。秋には黄金色に染まり、地域の人にとってシンボルであり、憩いの場となっています。

龍蔵寺には、希少な日本在来種のアジサイが咲き、ニホンミツバチが生息しています。子どもたちは、どちらのお寺も地域の人に長年愛されて大切にされてきたことを知り、誇りに思うと共に、また行きたいと愛着を感じるようになりました。



ジャパニーズデニム「サムライコットンファーム」(2年生)

「サムライコットンファーム」さんは、世界に誇る「ジャパニーズデニム」の材料である綿を城南小校区で栽培されていました。2年生は、コットンファームさんに指導していただき、綿の植え、綿の収穫、綿織り機を使った体験などを行っています。

子どもたちは、身近な布が、畑で栽培した綿花からできあがるのだということに目を見張り、布ができるまでの苦労や工夫について、体験を通して学ぶことができました。





新井のみりよく発見！！

～つながい合おう 未来に向かって～

新井小学校では、「新井が好き、学校が好き、自分が好きになる新井っ子の育成」を学校目標に掲げ、地域とのつながりを大切にしています。ここでは、新井の町、新井小学校、学校園のあかつき山、町を流れる竹安川、町に広がる田園、子どもたちが大好きな場所がたくさんあります。新しい時代が良い時代になるよう地域の人々の願いが込められた校歌があります。大好きな場所を学ぶ活動を通して、新井の新たなみりよくを発見しています。

1年生 大好き新井小学校 ～わくわく探検～

「小学校ってどんなところ？」「何をするお部屋？」わくわくする気持ちでいっぱい1年生は、学校探検で2年生に教室の場所やルールを教えてもらいました。お話をよく聞き、わからないことは質問し、新井小学校での生活が楽しみになりました。



2年生 町探検 ～新井のひみつ見つけたい～

町探検を行い、新井にはお店や施設が多くあることに気づきました。6つのお店や施設でインタビューを行い、働く人の仕事や思いに触れ、新井地区のことがもっと好きになりました。



3年生 大好きあかつき山 ～しいたけはかせになろう～



学校の裏山「あかつき山」で原木しいたけを栽培しています。菌打ち、原木の入れ替え、収穫、配布などを行い、「おいしかったよ！」と学校みんなに喜んでもらいました。菌床しいたけも栽培し、「しいたけ博士」になりました。

4年生 川探検 ～竹安川を調査しよう～



学校の横を流れる竹安川の生物調査を行いました。カワゲラやトビケラが住み、竹安川の水がきれいだということがわかりました。たくさんの生物が住む豊かな自然であるこの川を守っていきましょうという気持ちが高まりました。

5年生 米づくり ～バトンをつなごう～



田植えから稲刈りだけでなく、精米してできたぬかを使ってぬか袋を作ったり、わらでしめ縄づくりをしたりしました。地域で育てられたおいしいお米のみりよくを再発見することができました。

6年生 新井小学校校歌 ～先人たちの思いに学ぶ～

校歌に秘められた思いや、その背景を探るためゲストティーチャーを招いて学習しました。時代背景や当時の暮らしをもとに、1～3番の歌詞の意味を考え、保護者や地域、全校生にむけて発表しました。



新井小学校校歌には「平和かがやくこの園に 幸あるあすを呼びまねく 新井小学校 誇りあり」という歌詞に込められた先人たちの思いがあります。新井小学校、そして「ふるさと」である新井地区がこれからも誇れる場所であり続けてほしいという願いとともに、未来へバトンを繋いでいきます。

青垣 魅力 大発見！！

～人・自然・伝統～

青垣地域の人・自然・伝統に触れ、地域の財産から学ぶ学習を通して、

青垣の素晴らしさを再発見し、ふるさと青垣への愛着や誇りを育てています

“人”の魅力 大発見！！



まち探検【2年生】



地域には自分たちの生活を支えてくれている人がたくさんいることに気づき、みんなが笑顔で過ごせるひみつを探しに出かけました。お店の人や地域の方へインタビューしたり、仕事の様子を見せてもらったりすることで、仕事の大変さや楽しさ、働いている人の思いを発見しました。

“自然”の魅力 大発見！！

川探検【4年生】



青垣を流れる川には、バイカモやホトケドジョウなどの希少な植物や生き物が生息しています。実際に川に出かけ、地域の方の話を聞いた後に生き物探しをしたり、バイカモの花を見たりしました。体験を通して、きれいな川を守っていくことの大切さを感じていました。

青垣の森林の現状やそれを保全する仕事の様子、さらにその森林を保全するための取組である間伐について森林組合の方から話を聞き、実際に体験活動を行うことで環境保全の大切さを知りました。実際に山や川に入り、自然に触れる体験を通して豊かな自然の魅力を発見しました。



間伐体験【5年生】

“伝統”の魅力 大発見！！

綿花の栽培～摘み取り【3年生】



綿くり体験・糸紡ぎ見学【1年生】



丹波布伝承館の見学・丹波布を織る体験【6年生】



青垣には「丹波布」という江戸時代から伝わる伝統的な織物があります。その貴重な伝統工芸品である丹波布の学習をふるさと学の柱として続けています。

今年度は3年生が綿の栽培から取り組むことになりました。栽培活動を通して、種まきから収穫するまでに、間引きや摘心をしたり支柱を立てたりと、たくさんの作業をする必要があることを知りました。秋になり、実が弾けて白い綿が見え始めると、「わーっ！」という喜びの声が聞こえてきました。大事に育てた綿花を自分たちで収穫し、1年生に引き継ぎました。

次に、1年生が綿花から種を取り出す綿くり体験をしました。初めて見る綿くり機。使い方を教えてもらってから、自分たちでもやってみました。機械を通ると種と綿がうまく分かれる様子を見ながら、楽しそうに活動しました。その後、綿から糸に紡いでいく、糸紡ぎの様子も見学しました。

最後に、6年生が丹波布を織る学習をしました。まず、丹波布伝承館に行って話を聞いたり、作業の様子を見学したりしました。その後、丹波布技術保存会の方に教えてもらいながら丹波布を織る活動をしました。3年生、1年生がつないできてくれた糸を使って、心を込めて織りました。

丹波布の学習を通して、丹波布の歴史や守ってこられている方の思いを知り、これからも大事に残していきたいという思いと、守られている伝統の素晴らしさを発見しました。

1年生 ～きせつとなかよし～

夏に育てた「あさがお」のつるを取り、「アサガオのリース」を作りました。飾りのコットンも栽培しました。秋になり学校周辺へ出かけ「秋の宝物探し」をして、校庭で見つけたいちごの葉っぱで「葉っぱのシャワー」をしました。

船城の自然とふれあい、その良さに気づきました。



丹波市立 ふるさと大好 ～ふれあいま

「友だちが好き 学校が好き
の育成を
船城の人・町・歴史に触れ、
ふるさとを愛する子

3年生 ～船城を調べよう～

わたしたちが住んでいる船城の町は、どんな町かを調べました。船城の町を探検し、見つけた神社やお寺を地図に書いていくと、各地区に神社やお寺があることに気づきました。野山地区にあるお寺で見つけた石碑から、船城小学校以前の旧野山学校があったことが分かり、とても驚きました。自分たちで調べて、自分の足で歩くことでたくさんの学びがありました。



5年生 船城の偉人を発信しよう～井上秀さん～

船城小学校の入学式や卒業式で舞台に置かれ、いつもは校長室にある木像は誰なのでしょう？

この人は「井上秀」という、船城出身の偉人です。新聞記事や資料を読んだり地域のグストティーチャーにインタビューしたりして、秀さんについて調べました。井上秀さんは、女性の地位向上と男女共同参画社会をめざして、さまざまな活動に取り組まれた人です。そんな秀さんのすごいところを『みんなのために努力をつみ重ねた井上秀』とまとめ、紙芝居を作りました。その発表のようすをビデオに撮り、春日地域の5年生に発信しました。

この学習を通して、ふるさとにはすごい偉人がいることを学び、ふるさとへの誇りが持てるようになりました。これからも秀さんの生き方を自分の生活に生かしていきたいと考える機会になりました。



みんなのために
秀さんを
つみかさねた
井上秀



船城小学校 き 船城っ子 なび きずな～

ふるさと大好き 船城っ子」
学校教育目標に、
地域の方から学ぶ活動を通して、
子どもたちを育成しています。

2年生 ～町が大すき たんけんたい～



探検に出かけ、町で働く方々にインタビューをすると、お仕事は違っても「地域の役に立てるのが嬉しい」と、同じ思いで働かれていることを知りました。途中、モリアオガエルのたまごも発見し、船城の人のあたたかい心と豊かな自然を感じることができました。



4年生 ～ミニトライやるをしよう～

キャリア教育の**いっかん**一環として、船城地域の事業所で働き、様々な体験活動を通して、人や社会と自分との関わりについて考える学習をおこないました。



活動では、「わからないことは聞く」「チャレンジする」ことが、できるようになっていきました。
地域の人々との繋がりの大切さを実感しました。

6年生 ～自分たちからきずなづくりの一步を～

「人が訪れたい船城地域」という未来のイメージをもとに、住民である自分たちが主体的に町づくりに取り組むことを考えました。まず、地域の方に地域の現状と課題などの話を聞きました。そして、地域の夏祭りに出店して、帰省した人も含めて人と人が楽しく繋がる機会を作りたいと、計画しました。夏祭りは中止になりましたが、後日船城小学校内で祭りを開催して、船城小学校みんなのきずなを深めることができました。

自分たちの生まれたふるさとのために自分たちにできることを考え、行動に移すことができました。多くの方に協力いただき、人のあたたかさやきずなを実感できました。雨で中止という困難も乗り越えることで、あきらめなくて工夫することの大切さも学びました。



令和5年度 指定校の学校紹介



丹波篠山市立城南小学校



学校教育目標 夢や希望をもち 個が輝く楽しい学校づくり

創 立 明治6年（篠山幹校として創立）

児 童 数 159名

特 色 「根よ張れ、幹よ太れ、葉よ繁れ」を校訓とし、校樹くすのきに見守られ、地域とともにある学校づくりをめざし、取り組んでいる。

所 在 地 丹波篠山市小枕120



丹波市立新井小学校



学校教育目標 新井が好き、学校が好き、自分が好きになる新井っ子の育成
～新井っ子の合い言葉は、にこ・はき・どん！～

創 立 明治6年（開精舎として創立）

児 童 数 92名

特 色 「新井が好き」と故郷を誇りに想う児童の育成を目指す。地域とともに、自然に親しめる校山園「あかつき山」を保全しながらシタケ栽培を行い、校区全体を活かした体験型環境学習に継続的に取り組んでいる。

所 在 地 丹波市柏原町大新屋698-2



丹波市立青垣小学校



学校教育目標 ふるさと青垣を愛し 自ら学び たくましく生きる 児童生徒の育成
～あったかことば・挑戦～

創 立 平成29年（青垣地域芦田、佐治、神楽、遠阪4小学校を統合）

児 童 数 268名

特 色 コミュニティ・スクールとして、青垣小中9年間の社会に開かれた教育課程の実現をめざし、地域・家庭と連携しながら、青垣に学び、青垣で育つ、青垣を担う児童生徒の育成に取り組んでいる。

所 在 地 丹波市青垣町佐治282-3



丹波市立船城小学校



学校教育目標 友だちが好き 学校が好き ふるさと大好き 船城っ子の育成
～学校・家庭・地域、みんなで子どもを育てる学校づくり～

創 立 明治7年

児 童 数 55名

特 色 書く力を育てる授業づくり、ワクワクドキドキする児童会活動、地域と協働して取り組む行事等を通して、学校が楽しい、船城が大好きと実感できる児童の育成を進めている。

所 在 地 丹波市春日町朝日90

※児童数は、令和5年5月1日現在

令和5年度 まちの自慢発表動画について

各校がふるさと学習などでまちの自慢について知ったことを基に、5分程度の動画にまとめ、発表しました。作成した動画は丹波教育事務所ホームページで公開しました。
今年度は丹波篠山市1校、丹波市3校の小学校が発表を行いました。

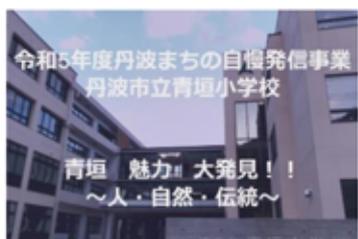
※QRコードをスマートフォン、タブレット端末等で読み取ると各校の発表動画を見ることができます。



【丹波篠山市立城南小学校】



【丹波市立新井小学校】



【丹波市立青垣小学校】



【丹波市立船城小学校】

第11回 たんぱっ子! 学びフェスタについて

感染症対策で中止や規模縮小を余儀なくされていた「たんぱっ子! 学びフェスタ」ですが、今年度は多くの参加者を会場に集め4年ぶりに通常開催しました。

地域団体や高校生を中心とした体験型ワークショップ、海外の日本人学校とオンラインで交流するオンラインチャレンジQ、知識はもちろん思考力も問われるチャレンジQなど多様な企画を実施しました。

オンラインチャレンジQでは、「未来はこんな世界にしよう! たんぱっ子! 学びフェスタ宣言!!」としてSDGsに関連した各地域の課題や未来について、イラン(テヘラン)、マレーシア(クアラルンプール)の日本人学校の子どもたちと一緒に考えました。

課題の中で地域のすごいところ・自慢を発表し合う場面では「食べ物(丹波栗、枝豆)がおいしい!」「祭りがさかん!」「地域の人の人柄が良い!」「自然が豊か!」などの丹波地域の自慢を世界に発信することができました。



今年度も、たくさんのご参加ありがとうございました。
また来年度のたんぱっ子! 学びフェスタもたくさんのご参加、ご協力をよろしく
お願いします!



丹波地域の学校マップ



※学校名に続く()は、まちの自慢発信年度を示す

【発行・編集】

兵庫県丹波県民局

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原688

TEL 0795-73-3718 FAX 0795-72-3077

兵庫県教育委員会丹波教育事務所

〒669-2341 兵庫県丹波篠山市郡家451-2

TEL 079-552-7486 FAX 079-552-6034

URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~tanba-bo/>

【発行日】 令和6年3月



丹波 国 森